



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 日産東京販売ホールディングス株式会社
コード番号 8291 URL <http://www.nissan-tokyo-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 酒井 信也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 早坂 正勝

TEL 03-5496-5203

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	71,201	106.6	1,658	—	1,179	—	746	—
23年3月期第2四半期	34,470	7.2	△180	—	△447	—	△963	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 758百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △1,031百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	11.22	—
23年3月期第2四半期	△14.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	68,503	13,859	19.1
23年3月期	49,867	13,115	24.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 13,115百万円 23年3月期 12,391百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	151,000	117.2	3,000	355.7	2,100	—	1,400	1.5	21.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名） 、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期2Q	66,635,063 株	23年3月期	66,635,063 株
24年3月期2Q	50,754 株	23年3月期	49,964 株
24年3月期2Q	66,584,687 株	23年3月期2Q	66,587,736 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 追加情報	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災によるインフラ被害の回復が進んだものの、原発事故による電力不足や放射能漏れに対する不安は継続しており、さらに欧州の金融不安による円高・株安が進行するなど、厳しい経済環境となりました。

当社グループの主力である自動車関連業界におきましても、生産設備及び供給網の被害の回復等は進みましたが新車販売台数は前年を大きく下回り、軽自動車を含む国内の新車販売台数は前年同四半期比23.7%減、当社グループのマーケットである東京都内の新車販売台数につきましても同23.5%減となりました。

このような状況の中、当社グループの新車販売台数につきましても、平成23年4月1日付で日産プリンス東京販売(株)及び日産プリンス西東京販売(株)を傘下に加えた結果、前年同四半期比98.2%増と大幅に増加いたしました。

<参考>東京日産自動車販売(株)を含めた日産販社3社の新車販売台数は、都心部の店舗及び業者販売部門を日産自動車販売(株)へ移管したこともあり、前年同四半期比36.8%減となりましたが、移管部門を除いた比較では同15.7%減にとどまっており、全国及び都内の需要を上回る実績となっております。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は71,201百万円（前年同四半期比36,730百万円増、106.6%増）、営業利益は1,658百万円（前年同四半期は180百万円の損失）、経常利益は1,179百万円（前年同四半期は447百万円の損失）、四半期純利益は746百万円（前年同四半期は963百万円の損失）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

① 自動車関連事業

M&A戦略により新車販売台数が前年同四半期比98.2%増となったことに加え、日産販社3社の協業体制の推進及び営業費の削減に取り組んだ結果、売上高は67,137百万円（前年同四半期比36,632百万円増、120.1%増）、セグメント利益（営業利益）は1,838百万円（前年同四半期は103百万円の損失）となりました。

② 不動産関連事業

外部顧客への賃貸契約が増加したことにより、売上高は294百万円（前年同四半期比138百万円増、89.0%増）となりましたが、売上原価の増加等により、セグメント利益（営業利益）は59百万円（前年同四半期比5百万円減、9.1%減）となりました。

③ 情報システム関連事業

競合先との激しい競争状態によるIT商品の低価格化が進む中、第1四半期は顧客のIT機器に対する災害対策需要によりハードウェアビジネスを中心に受注が増加いたしました。7月以降は災害対策需要の落ち着きとともにIT投資に対する慎重さが戻り、売上高は3,142百万円（前年同四半期比415百万円増、15.2%増）、セグメント利益（営業利益）は99百万円（前年同四半期比4百万円減、4.7%減）となりました。

④ その他

その他の事業は人材派遣事業であります。派遣契約の継続契約の取りやめが依然として続いている中、派遣スタッフの増加を目指す営業活動を行うとともに、営業費の削減努力を行ってまいりましたが、平成23年3月30日付で自動車教習所事業を展開しておりました東京日産ドライビングカレッジ(株)の全株式を譲渡した影響もあり、売上高は626百万円（前年同四半期比456百万円減、42.1%減）、セグメント利益（営業利益）は5百万円（前年同四半期比12百万円減、69.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は68,503百万円（前連結会計年度比18,636百万円増、37.4%増）となりました。主な内容は、日産プリンス東京販売(株)及び日産プリンス西東京販売(株)を連結子会社化したことなどにより受取手形及び売掛金が1,433百万円、商品が3,799百万円、その他流動資産が2,951百万円、有形固定資産が11,821百万円及び無形固定資産が1,813百万円増加し、借入金の返済などにより現金及び預金が3,627百万円減少しております。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は54,644百万円（前連結会計年度比17,892百万円増、48.7%増）となりました。主な内容は、日産プリンス東京販売(株)及び日産プリンス西東京販売(株)を連結子会社化したことなどにより支払手形及び買掛金が4,821百万円、賞与引当金が894百万円、その他流動負債が2,827百万円、退職給付引当金が6,604百万円及び長期リース債務が8,417百万円増加し、借入金の返済により長短借入金が5,647百万円減少しております。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は13,859百万円（前連結会計年度比743百万円増、5.7%増）となりました。主な内容は、四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が746百万円増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績は、日産販売3社の協業体制の推進及び営業費の削減効果により、当初予想を大幅に上回る実績となりました。通期連結業績につきましても、平成23年7月25日に公表いたしました業績予想を上回る見込みとなるため、平成24年3月期の通期連結業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「平成24年3月期第2四半期連結累計期間業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

在外子会社の税金費用の計算については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、在外子会社における法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,903	8,275
受取手形及び売掛金	6,077	7,511
商品	2,371	6,170
仕掛品	54	146
貯蔵品	12	90
その他	1,555	4,507
貸倒引当金	△1	△15
流動資産合計	21,974	26,686
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,409	6,307
リース資産（純額）	26	8,955
土地	15,665	15,674
その他（純額）	1,707	4,693
有形固定資産合計	23,809	35,630
無形固定資産		
のれん	43	1,802
その他	158	212
無形固定資産合計	202	2,015
投資その他の資産		
投資有価証券	1,815	1,811
その他	2,131	2,483
貸倒引当金	△65	△123
投資その他の資産合計	3,881	4,171
固定資産合計	27,892	41,817
資産合計	49,867	68,503

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,468	16,289
短期借入金	1,458	659
1年内返済予定の長期借入金	2,947	1,587
1年内償還予定の社債	100	100
未払法人税等	158	200
賞与引当金	397	1,291
その他	2,681	5,509
流動負債合計	19,212	25,637
固定負債		
社債	350	300
長期借入金	11,367	7,879
繰延税金負債	295	262
退職給付引当金	5,007	11,612
役員退職慰労引当金	17	—
資産除去債務	288	271
リース債務	5	8,422
長期預り金	164	148
その他	42	109
固定負債合計	17,539	29,006
負債合計	36,751	54,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,752	13,752
資本剰余金	2,350	2,350
利益剰余金	△3,668	△2,921
自己株式	△12	△12
株主資本合計	12,420	13,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89	44
為替換算調整勘定	△119	△96
その他の包括利益累計額合計	△29	△52
少数株主持分	723	743
純資産合計	13,115	13,859
負債純資産合計	49,867	68,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	34,470	71,201
売上原価	26,827	53,692
売上総利益	7,642	17,508
販売費及び一般管理費	7,823	15,849
営業利益又は営業損失(△)	△180	1,658
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	37	35
保険返戻金	34	—
雑収入	16	77
営業外収益合計	89	114
営業外費用		
支払割賦手数料	18	12
支払利息	233	311
雑損失	104	269
営業外費用合計	356	593
経常利益又は経常損失(△)	△447	1,179
特別利益		
固定資産売却益	4	—
貸倒引当金戻入額	1	—
投資有価証券売却益	26	—
特別利益合計	32	—
特別損失		
固定資産除売却損	22	21
投資有価証券評価損	—	54
関係会社整理損	96	—
特別退職金	238	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	73	—
その他	1	—
特別損失合計	433	76
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△847	1,102
法人税、住民税及び事業税	79	160
法人税等調整額	△5	162
法人税等合計	74	323
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△922	779
少数株主利益	41	32
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△963	746

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△922	779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	△44
為替換算調整勘定	△51	23
その他の包括利益合計	△108	△21
四半期包括利益	△1,031	758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,073	724
少数株主に係る四半期包括利益	42	34

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	自動車 関連事業	不動産 関連事業	情報システム 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,504	155	2,727	33,388	1,082	34,470
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3	—	127	130	117	248
計	30,508	155	2,854	33,518	1,200	34,718
セグメント利益又は損失(△)	△103	64	104	66	18	84

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業及び自動車教習所事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	66
「その他」の区分の利益	18
全社費用(注)	△264
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△180

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係るものであります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	自動車 関連事業	不動産 関連事業	情報システム 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	67,137	294	3,142	70,575	626	71,201
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	199	199	90	289
計	67,137	294	3,342	70,774	716	71,491
セグメント利益	1,838	59	99	1,997	5	2,002

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,997
「その他」の区分の利益	5
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△343
四半期連結損益計算書の営業利益	1,658

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係るものであります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

平成23年4月1日付で、日産プリンス東京販売(株)及び日産プリンス西東京販売(株)の株式を取得し、連結の範囲に含めております。これらの事業展開によって期待される超過収益力から発生した当第2四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は、「自動車関連事業」において1,806百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。